

第二十七句会 俳句

【高点句】

- ☆ベビー靴白し聖樹の灯りたる 〈明美〉
☆古稀といふただそれだけの冬の旅 〈一馬〉
☆大根の葉っぱゆらして老夫婦 〈安津子〉
☆今は声かけずにおこう日向ぼこ 〈眞澄〉

【各自一句】

- ・大根やおろして辛し煮て甘し 〈童心〉
・冬の瀬戸日の出が創る海の道 〈青蛙〉
・大根煮る醤油の香ラジオ鳴る 〈安津子〉
・冬うらら障碍の子の母笑みて 〈茂〉
・誰もをらぬ荷台に大根あふれしめ 〈きさ〉
・一洗ひせし大根を送りくれ 〈明美〉
・年の瀬や地震の傷跡まだ屋根に 〈眞澄〉
・大根や切り口により味七つ 〈撫子〉
・纏ふもの無く伸びきりて冬木立 〈一馬〉
・うとうとと数独止まる日向ぼこ 〈莫院〉
・葱花(ぎぼう)といふ母の旧姓葱刻む 〈千恵〉

*以上、33句(3句ずつ11名)より、選句は13名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(同点の句がある場合は、第三位の句迄)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載)